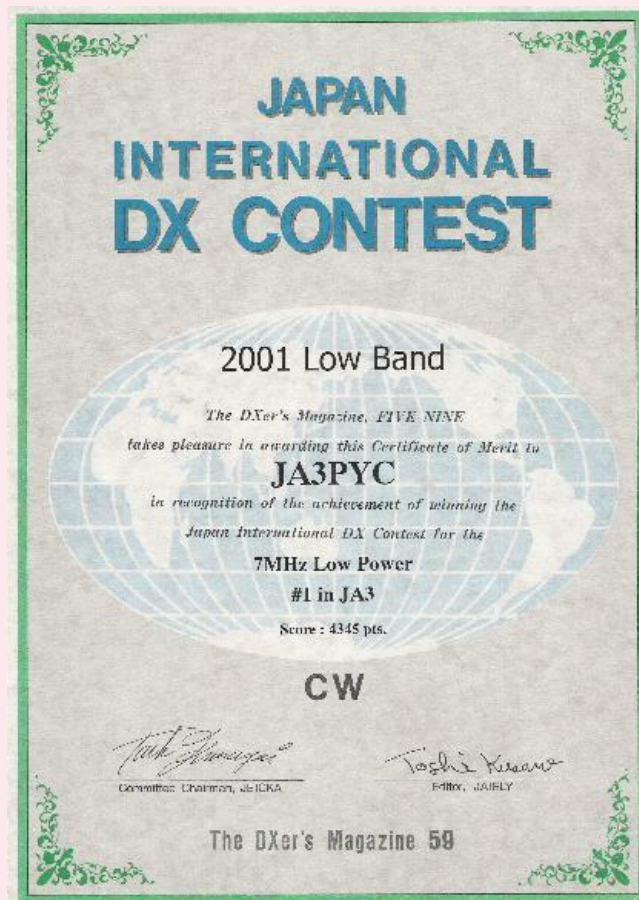
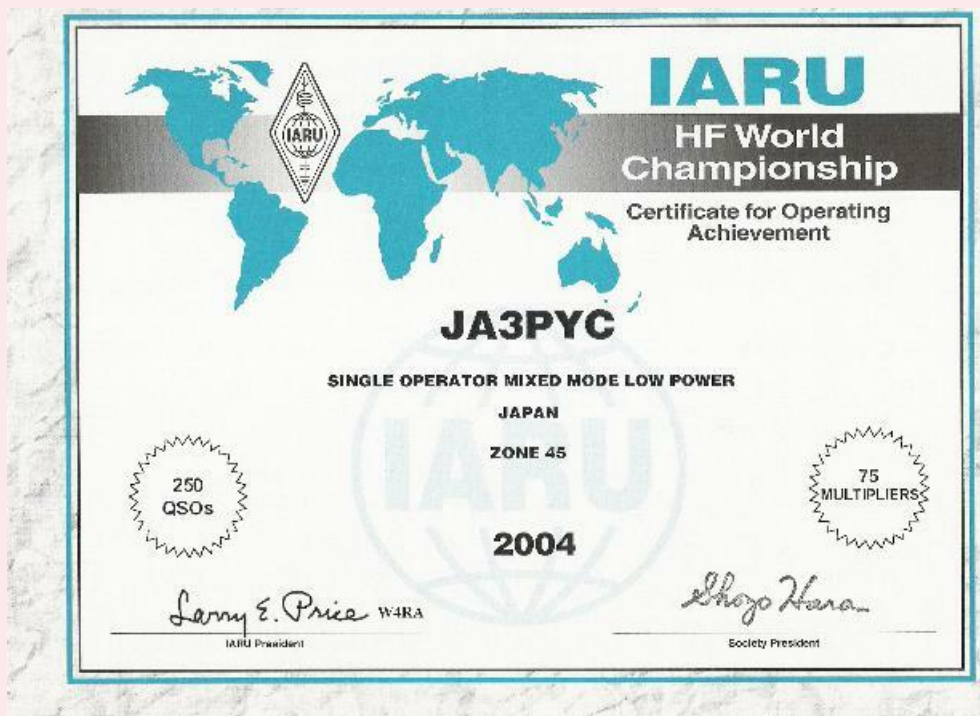


あれや 賞状 これや



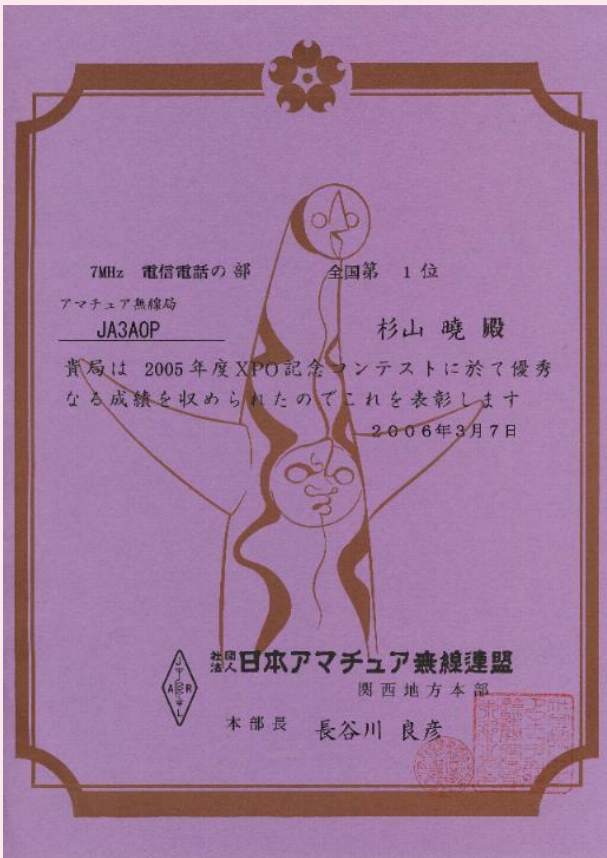
山梨県塩山市大菩薩峠移動でした。JA1のAMの
パイルアップがもの凄かった。

59誌主催のコンテストです。JA対全世界。そのため、
ローパワーでもCQを出せば呼ばれます。

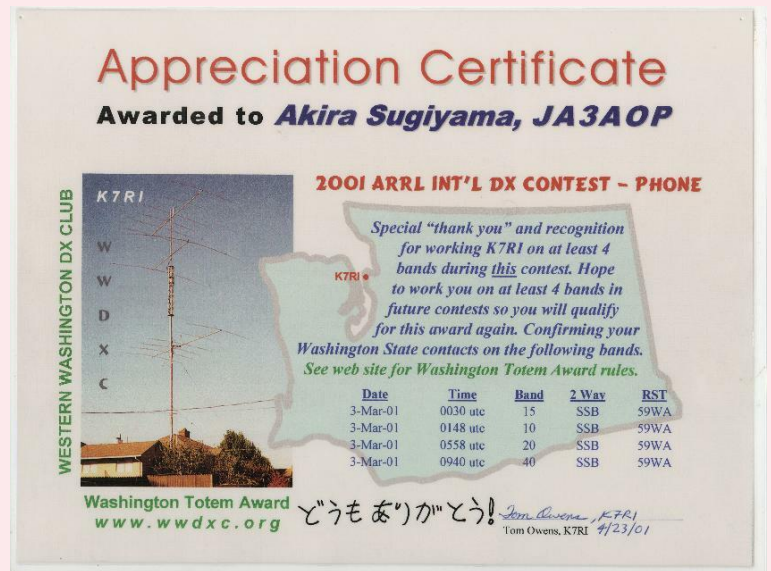


IARUコンテストです。
250QSO以上で賞状が
もらえます。
この250とい数字が魔
物で、簡単にクリアでき
る時は、何とい事もな
いですが、調子が悪い
ときには辛い数字です。

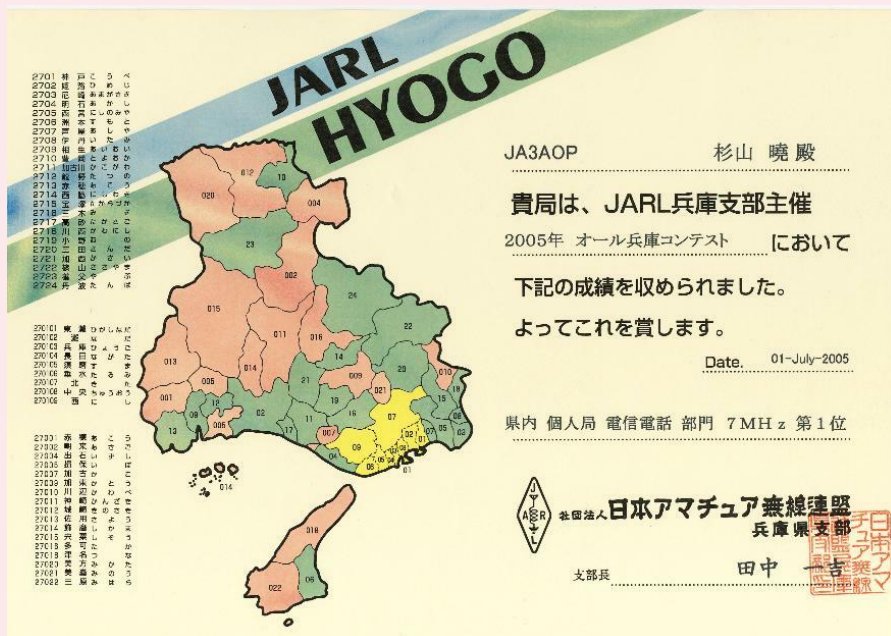
あれや 賞状 これや



大阪万国博記念のXPOコンテスト往時に活躍したベテランの参加者が多い。



Kiro 7 Radio Ichiroh のphonetic call で知られる親日家のコンテスター-K7RIはARRLコンテストで4バンド以上交信局にAward発行。
コンテストでコールを覚えて貰おうと懸命の努力。



平成の大合併さなかの2005年兵庫コンテスト。
市郡町村地図を基にしたデザインはこの年限りの絵柄となりました。

J13ZAG 大阪国際交流センター・ラジオクラブ

Roll Call : 14.155Mhz at 0900 JST on every Saturday

会員募集中 「アマチュア無線を通じて国際交流」 : ji3zag@ja3.net

HF propagation prediction tool for Amateur Radio

HAMCAPのご紹介

VU7RGのHPでも使われていましたHAMCAPについてすでにご承知の方も多いと思いますがご紹介いたします。HAMCAPはアマチュア無線に用途を絞ったHF帯の電波伝搬予測ソフトでフリーソフトとして提供されています。3月のARRL-DX phone contestで使ってみました、運用スケジュールをたてるのに大いに役立ちました。まずはHAMCAPのホームページ <http://www.dxatlas.com/HamCap/>へ入ってみましょう。

Ham CAP 1.5

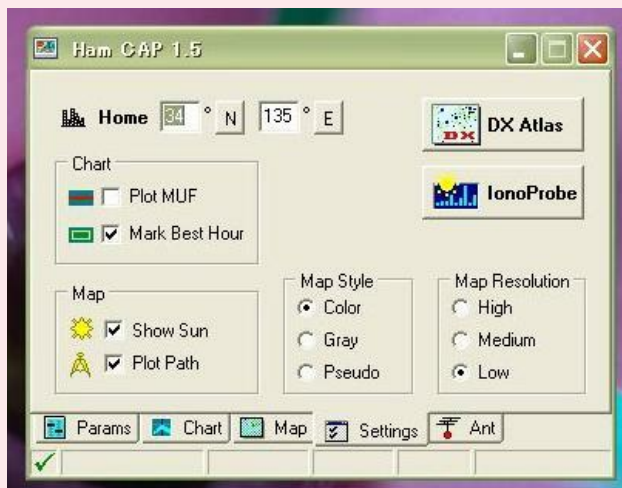
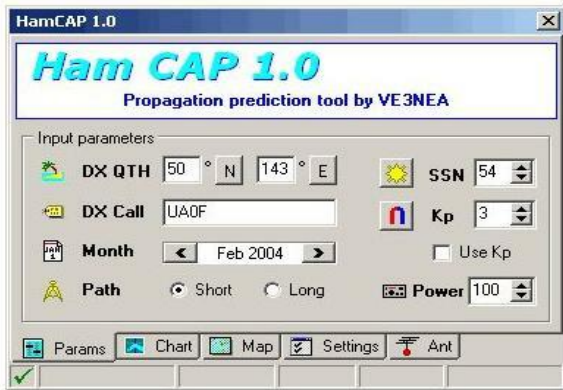
HF propagation prediction tool for Amateur Radio

Copyright (c) 2004 Alex Shovkoplyas, VE3NEA

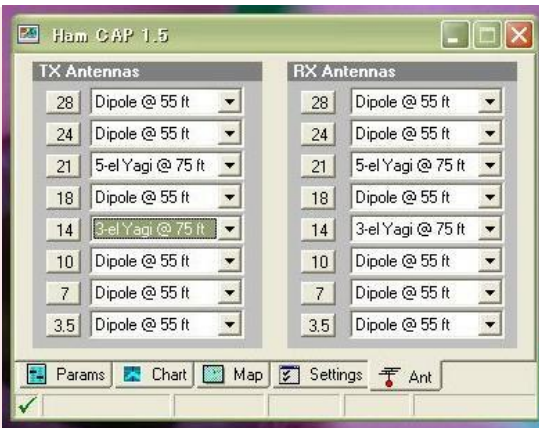
hamcap@dxatlas.com

FREEWARE

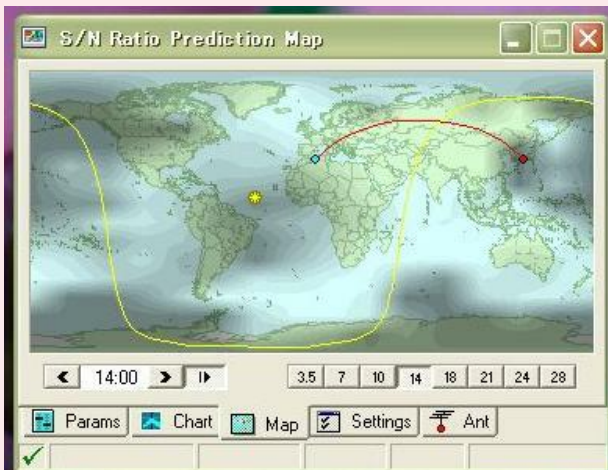
HAMCAPとVOACAPのダウンロードの案内があります。案内どおりに両プログラムをインストールします。実際に使用するのはHAMCAPを使います。VOACAPの機能はHAMCAPプログラムが使用しますのでユーザーはVOACAPは組み込むだけで起動はしません。HAMCAPを起動し、Settingsを選んで自局(Home)の緯度経度を設定し太陽の位置、伝播経路など表示させたいものをチェックします。



Antを選んで送信と受信のアンテナを設定します。Paramsを選んで電力など計算の条件を決めます。



Mapをクリックすると伝播状況を示す地図が現れ周波数時刻と時刻に対する伝播状況が一目瞭然です。ChartではMap上で指示した地点への伝播チャートが即座に得られます。イオンセンサーとの連動など高度の活用ができます。サードパーティーによるWebでのトレーニングも用意されています。



VE3NEAによるHAMCAPは定評のあるVOACAPの働きを使って、易しい操作でアマチュア無線のHF電波伝播予測の知識を与えてくれます。ぜひ試されることをお奨めいたします。

JA3AOP/杉山 暁